

平成27年度

事務事業評価表 A (平成26年度の実績評価)

記入年月日 平成 27 年 4 月 10 日

事務事業名: 青少年相談員運営事業. 区分: 分野別主要事業. 事務事業No.: 30323549. 課内No.: 49. 政策体系: 総合計画の施策名 303 青少年の健全育成. 予算科目: 会計 1 10 5 5 1. 法令根拠: Do 1. 事務事業の現状把握 (その1).

(1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標. ① 事務事業の概要 (事務事業の内容): 地域における青少年対策推進の中核として活動するため、昭和38年5月に青少年相談員が設置された。② 担当者が行う業務の内容、実際に行った主な活動: 役員会・総会関係事務、青少年相談員委嘱、債権者登録事務等。③ 対象 (誰、何を対象にしているのか): 青少年。④ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか): 青少年の健全育成と非行防止の推進を図ることにより、豊かな心・生きがいをもった青少年になる。⑤ 結果 (どんな結果に結び付けるのか): 次代を担う青少年が夢と希望を持って心豊かにたくましく成長し、社会の一員として自立に向かっていく。

(2) 指標値の推移. Table with columns for 区分, 単位, 24年度 (実績), 25年度 (実績), 26年度 (実績), 27年度 (計画), 28年度 (目標), 29年度 (目標), 30年度 (目標). Rows include ⑥活動指標, ⑦対象指標, ⑧成果指標, ⑨上位成果指標.

(3) 投入量 (事業費) の推移. Table with columns for 区分, 単位, 24年度, 25年度, 26年度, 27年度, 28年度, 29年度, 30年度. Rows include 事業費 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A)), 人件費 (正規職員従事人数, 述べ業務時間, 人件費計(B)), トータルコスト(A)+(B), and 事業費の内訳 (報酬, 旅費, 需用費, 使用料).

(4) 当該年度の実施内容. Table with columns for 27年度の事業内容, 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容. Includes a note: ※ 下記に該当する事業は年度ごとの事業内容を記入する (分野別主要事業, 未来プロジェクト事業, 市長マニフェスト事業, 合併建設計画事業).

事務事業名	青少年相談員運営事業	事務事業No.	30323549	所属課	生涯学習課
-------	------------	---------	----------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

- ・地域における青少年対策推進の中核として活動するため、昭和38年に青少年相談員制度が設置された。その後、昭和56年に青少年(5歳~19歳)200人に1人の基準が設けられたが、現在は茨城県青少年の健全育成等に関する条例、及び桜川市青少年相談員設置規則に基づき活動している。(設置基準は平成12年に廃止)
- ・地域的な結びつきが弱くなってきており、地域で子どもを守ることが困難になってきている。
- ・県から補助金として支出されている「青少年の健全育成に協力する店舗訪問業務補助金」はA店舗のみとなった。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・活動に対して、市民の関心が低いとの意見が寄せられている。
- ・校外巡視活動を増やしてはどうかとの意見が、青少年相談員より寄せられている。

【See】 2. 評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段が無い
効率性	⑦事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	青少年相談員活動のPRをするため、専用ベストを揃え活動を行っているが今一つ認知不足であると思われる。 青少年相談員としての活動がマンネリ化しているため、活動内容を検討したい。 また、青少年相談員は、青少年育成桜川市民会議役員及び学校警察連絡協議会員としても活動していることが多いことから、今後も効果的な活動ができるよう、相互に協力・連携していく。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(3)-1 改革改善策 青少年相談員としての活動の活性化及びPRの推進を図る	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 青少年相談員としての活動を地域に認知されるよう、巡視活動及びPR活動の場を増やす。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑨																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>